

(仮称)新白滝山風力発電事業に係る計画段階環境配慮書に対する知事意見の概要

項目	主な意見
【全体的事項】	<ul style="list-style-type: none"> ○風力発電設備の配置等や工事計画を明らかにした上で、必要な評価項目を選定し、適切に影響評価を実施すること。環境影響を回避・低減できない場合は、事業計画の見直しを行うこと。 ○工事期間が、既設風力発電所の撤去工事等の期間と重複する場合は、想定される最大の影響を考慮した影響評価を行うこと。 ○既設風力発電所の利用可能なデータを取得し、方法書以降の影響評価に活用すること。 ○地域住民等に対し、事業内容や環境影響の積極的な情報提供や丁寧な説明に努め、真摯に対応し、相互理解促進に努めること。 ○既設風力発電所による開発済みの土地について、土地の改変量抑制のための積極的な利用又は原状回復措置を検討すること。
【個別的事項】	
騒音等	<ul style="list-style-type: none"> ○住居等への影響を回避・低減するよう風力発電設備の配置等を検討するとともに、超低周波音の影響評価も検討すること。
水環境・水生生物	<ul style="list-style-type: none"> ○周辺に複数の河川が存在し、イシドジョウの生息が確認されていることから、河川流域全体への影響を考慮した影響評価を行い、水環境や水生生物への影響を回避・低減すること。
動植物生態系	<ul style="list-style-type: none"> ○クマタカの生息や渡りのルートの可能性があり、衝突などが懸念されるため、鳥類等への影響を回避・低減すること。 ○「天井ヶ岳のモミ林」等があり、動植物の生息・生育環境等への影響が懸念されるため、その影響を回避・低減すること。 ○工事に伴う動植物への影響を回避・低減すること。また、法面緑化では、適切な植物種を選定するよう検討すること。
景観	<ul style="list-style-type: none"> ○風力発電設備の形状、色、配置等の検討に当たっては、圧迫感が生じないよう検討し、地域住民等の意見を踏まえること。
人触れの場	<ul style="list-style-type: none"> ○白滝山、天井ヶ岳及び一位ヶ岳並びにその登山道の直接改変や景観変化が懸念されるため、適切に影響評価を行うこと。